

北杜市立高根北小学校 P T A

全ては子ども達のために ここにより良い学校を創ろう～全校総活躍学校

学校の特徴

創立144年の伝統と歴史のある学校だが、2018年度末に統合を控えている。学校教育目標「なかよく かしく たくましく」のもと、学習にまじめに取り組み努力している。保護者の協力を得ながら、地域巡りやハヶ岳登山など地域に根ざした体験活動に力を注いでいる。

地域の特徴

ハヶ岳南麓に広がる里山地域で、美しい山々をはじめ豊かな自然と共にある。3世代同居の家庭が多く、学校教育への関心は高く、協力的である。PTAだけでなく地域に同窓会も組織されていて教育活動を支援している。

活動内容

年2回のPTA総会、4回のPTA役員会、3つの専門部会、有志による親子祭り実行委員会。多くの保護者が2つの役職を兼ねながら、子ども達のために主体的・意欲的に活動している。

北小親子祭り

小学校に親子で泊まろう!!

- ・地域の人に昔話を聞こう
- ・夕食は流しそうめん
- ・花火は手作りのナイアガラの滝
- ・幻想的なキャンドルサービス
- ・真夜中に理科室と音楽室、トイレを探検～肝試し
- ・翌朝は甲州弁ラジオ体操



うちどく 金・土・日は家書の日

読書を生活の一部に!!

- ・子ども達から募集したキャッチフレーズ
- ・週末は親子で読書
- ・親からのコメントは子ども達の励み
- ・家庭と学校の連携を図るとともに基礎学力の向上を目指す



PTA機関誌「もみじ」

PTA報道部員渾身の作!!

- ・PTA新聞コンクール優秀賞
- ・年2回の発行 16ページの大作
- ・特集記事で北小の秘密を公開
- ・地域の全家庭に配布



校庭芝張り

学校林整備作業

芝生の校庭と整備された学校林は子どもたちの誇り!!

- ・同窓会・PTAによる学校林整備
- ・森林組合の方による間伐指導
- ・学校林を利用した環境学習
- ・親子で間伐作業。校庭芝張り



成果と課題

PTA会員のほとんどが本会役員と専門部員であり、お互いをよく知り合うことで積極的に連携しながら、よりよいPTA活動を目指して、自主的・意欲的に活動を展開している。2年後に統合した後も、新しい学校のためにこの繋がりを大切にしていきたい。

所在地 山梨県北杜市/児童数 39名

【山梨県教育委員会社会教育課】

【飯山市立東小学校PTA】 “あいさつ”でつながる、みずほの里づくり

所在地:長野県飯山市

学校の特徴:小規模校の利点を生かした学校づくりのモデル校。

地域の特徴:文化的景観「小菅の里」をはじめ、福島棚田・菜の花公園等、地域の歴史、自然、文化など恵まれた環境の中にある“地域に開かれた学校”。

全校児童数:46人

特徴的な活動について

OPTAと学校運営協議会が中心となり地域をあげて、平成25年より「あいさつで明るい里づくり」という思いのもと、「あいさつ運動」に取り組んでいる。
○毎月11日の「あいさつの日」には、子どもたちの登校する前(午前6時55分)から、校区ページング放送にて「あいさつは魔法の力」をBGMにし、あいさつを呼びかけるアナウンス活動を行っている。
○東小学校児童を育てる会の一員として、「心をつなぐあいさつの力」等の講演会を行っている。

成果と課題

○校区内に【スマイルハートあいさつ運動】の看板の設置により、よりあいさつ運動への意識が高まった。あいさつを通して、PTA・保護者・地域が一体となって、活動する素晴らしさを感じている。
○あいさつ運動が、今後も持続的な活動になることを望みたい。



各地域に設置された【スマイルハートあいさつ運動】の看板。通学路だけでなく公民館など人が集まるところに設置されている。PTA会員・学校運営協議会委員・区長さん方が設置した。

平成19年より続く、東小PTAが取り組む「菜の花見守り隊」。一言かけて、下校パトロール。



【長野県教育委員会】

岐阜市立鶉小学校PTA

所在地: 岐阜県岐阜市中鶉4-189-1 / 全校児童数: 814名

地域と協力して子どもを育てる～生きるための防災訓練～

学校の特徴	児童数は814人で、岐阜市では一番大きな規模の学校である。また、学校の敷地内に公道が走っており、校舎は天空の廊下(公道の上を渡る廊下)がある特徴的な構造になっている。学校の教育目標は、「ゆたかで たくましい 鶉の子」であり、児童の笑顔いっぱいの子育てを目指している。学校・地域・家庭が一体となり子どもたちを育てる「共育」を推進している。
地域の特徴	岐阜市の南部に位置し、町の中心にある鶉田神社では、古くから伝わる尾なし龍の民話が語り継がれている。鶉小学校区は近年急激に人口が増加していて、田畑に新しい家が建ち、若い世代が特に増えている。もともと住んでいたお年寄りや若い世代との交流が少なく、自治会の加入率が低い。学校・地域・家庭が一体となり、子どもたちを育てる共通のペースが不十分な現状がある。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <防災訓練> PTA主体の防災訓練。地域の防災関係に携わる方と協力し、学校、地域、家庭と連携した防災訓練の実施。 <地域行事への参加> 夏祭り、神社めぐり、地区運動会、文化祭などの地域行事へのPTAの参画。 <学習支援> 年度当初にPTA冊子に「家庭学習のすすめ」を掲載し、家庭での学習の補充、深化の協力を推進。

特徴的な活動



成果

PTA活動を通じ、学校内の活動だけでなく、地域と積極的にかかわることで、以下の3点について成果がみられるようになった。

- ・お互いの顔が見えるようになり、安心・安全な地域をつくることのできるようになった。
- ・お互いが協力することで、会話が生まれ、共に子どもたちを育てる環境をつくることのできるようになった。
- ・学校と地域と家庭をつなぐ役割ができるようになった。

今後に向けて

- ・児童センター、公民館、青少年育成市民会議とも連絡を密にして地域の教育環境の改善を図っていく。
- ・交通安全協会、コミュニティスクール「見守り委員会」の方の力を借りながら、年間を通して児童の登下校の見守りを充実していく。

【岐阜県教育委員会学校支援課】

袋井市立笠原幼稚園PTA

つなげよう地域の輪・育てよう家庭の輪・育もう地域の輪

所在地: 静岡県袋井市 全校生徒数: 園児43名

学校の特徴	昭和32年に設立され、創立60年。お茶畑や緑豊かな自然に恵まれ、温かい地域の人たちに支えられる中で、園児と保護者と職員の絆を深め、地域住民・施設と連携し、魅力ある幼稚園を目指す。園児が進んで遊び、優しさが輝き、笑顔で安心して生活できる園づくりを行う。
地域の特徴	茶・みかん栽培・稲作の緑豊かな自然環境とともに、公民館・健康プラザ・児童館・老人福祉センター等の文教福祉施設に恵まれている。また、サッカー・ラグビーワールドカップ会場の小笠山総合運動公園(エコパ)や大学が近くに位置している。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の伝統や文化を親子で学び次代へつなぐ「ふるさと講座」 ○園を潤し絆を深める「保護者サークル活動」 ○親子徒歩通園や父親読み聞かせなど「親子のふれあい活動」 ○挨拶や家庭で徳育を実践する「徳育推進活動」

特徴的な活動

親子・保護者・地域がふれあう取組

○運営効率化と参加しやすい環境づくりへの取組
運営は、総務部、事業部、研修部、安全部の担当が少人数で行い、活動は園行事にあわせた日に設定し、全員が参加しやすい環境をつくらせている。教師も参加しており、園の指導と綿密な打合せができ、反省会により、次年へ継続した活動を実施。

○保護者主体によるPTA活動の継続的な取組

年間を通じて、保護者サークル活動を実施。
料理・絵画・園芸・音楽の活動を園内で実施。保護者同士の絆を深め、園の生活環境を豊かにしている。



「ふるさと講座」

【開催時期】 年間10回
【取組内容】 地域の方に「わくわく先生」として講師を依頼。親子で地域の伝統や文化を体験し、学び、次代へつなぐ。

茶摘、陶芸(茶器)、茶道教室、凧作り、竹馬作り、等

○工夫している点

親子一緒に体験により、感動を共有し絆を深めている。茶摘→茶器→茶道や水鉄砲作り→わくわく先生とシニアクラブによる遊び方指導など活動をつなげて実施。参加する地域の方も年々増えている。



○地域施設と連携した取組

公民館主催の夏祭りや地域文化展に運営としてPTAが参加。地域図書館による読み聞かせ絵本の配布、地域ボランティア読み聞かせを利用。シニアクラブとの交流では、伝承遊びを教してもらい、共に楽しむ。



○地域における活動
交通安全マスコット配布による啓発活動、住民参加の防犯教室、地域資源回収箱設置。

○徳育推進活動
挨拶運動、家庭での徳育教育の実施。

○親子ふれあい活動
親子徒歩通園の推奨。親子触れ合い遊び。

○その他活動
環境奉仕作業、交通安全教室、読み聞かせ。



成果

- ・親子、PTA、地域のふれあいを大切に、教師も含め園一体で活動を実施している。地域住民、施設との連携活動も多く、地域環境づくりの一翼を担っている。
- ・子供達は、地域の大人との交流や遊び、学びの中で、人の温かさや優しさ、人とかかわる楽しさを知り、ふるさとを愛する心を育てている。
- ・保護者の主体的な活動により、父母ともに積極的に子育てに参加している。

課題

- ・近隣保育所と統合し、こども園となり、園及びPTAの体制が変わる。人数等規模も変わり、地域に浸透した幼稚園PTAの活動内容の継続、実施内容見直しや新たな課題へ対応していくこととなる。

【静岡県教育委員会社会教育課】

高浜市立翼小学校PTA

所在地 愛知県高浜市

全校児童数 742名

学校・家庭・地域のふれあいを深めよう

学校の特徴	平成14年に開校した、歴史の浅い学校で、約1割が外国籍の児童である。学校支援のためにPTAだけでなく、翼まちづくり協議会や飛翔の会（翼小学校PTA O Bで結成された会）など地域の方々も積極的に関わっている。
地域の特徴	高浜市の北東部に位置し、沿道型の商業地からなる商業系地域、旧住宅地と新住宅地からなる住居系地域、大手企業からなる工業系地域となっている。町内会、公民館、まちづくり協議会等、地域の行事も活発に行われている。
活動内容	役員会、はばたき委員会、ワーキンググループ各部会で企画・運営をしている。また、土曜クラブ、PTAクラブが積極的に活動している。地域・関係機関とも連携し、児童の健やかな成長を図ることを目的に活動している。

特徴的な活動

<p>あいさつ運動</p>  <p>PTA役員が毎月1回、正門で行っている。今まで以上に大きな声で、元気よくあいさつをする児童が増えた。活気あるあいさつ運動で、お互いによい一日のスタートを切れている。</p>	<p>土曜クラブ（剣道）</p>  <p>土曜日の子どもの居場所づくりの一環として行っている。4年生以上は、防具をつけ声にも気合いが入り、緊張感が漂う中で練習を行っている。礼儀作法を最も大切にしている。</p>	<p>eデーふれあいの翼</p>  <p>地域の夏祭りで、6年生、PTA、飛翔の会の各ブースが設けられている。吹奏楽部の演奏や希望者による校歌の合唱・盆踊りなどでも学校・家庭・地域のふれあいを深めている。</p>
--	---	---



【成果】
家庭や地域の方も協力的で、学校・家庭・地域が一体となった積極的な活動ができており、子どもたちの地域を愛する意識や健やかな成長につながっている。

【課題】
活動を通して、人と人がつながり、家庭・地域との連携を深め、家庭・地域の教育力向上につなげていきたい。

【愛知県教育委員会生涯学習課】

伊勢市立厚生小学校PTA

伝統を重んじながら、主体的に活動するPTA！

所在地：三重県伊勢市
全校児童数319名

学校の特徴	1884年(明治17年)に創設された創立133年になる伝統ある学校である。昭和28年に第1回日本PTA全国大会が本校で開かれた。学校のシンボルはグラウンドにそびえる大きな櫓であり、野口みずきが卒業生である。かつては2000名を越える大規模校であったが、現在は319名の中規模校である。
地域の特徴	外宮から1kmに位置し、昔からの繁華街・住宅地が校区である。古くから住んでいる住民には卒業生が多く、「おらが学校」といった意識が根強い。近年、商店街の空洞化現象に伴い、マンションやアパートに移り住んできた保護者が年々増えてきた。
活動内容	毎月行われる本部役員会・理事会で基本案を企画し、各学年の学年役員(10名あまり)で構成される6つの委員会が、主体的に活動している。

PTA組織
本部役員(16名)
〔会長・副会長・書記・会計等〕

↓

理事(各学年1名計6名)
副理事(各学年2名計12名)

↓

学年役員
1年役員(福祉厚生委員会)7人
ベルマーク作業、児童の福利厚生に関わる事業
2年役員(美化委員会)11人
会員の教養と情操教育を高める事業
3年役員(広報委員会)11人
新聞発行等、本会の活動に理解を深める事業
4年役員(生活安全委員会)11人
生活交通安全・防犯に関わる事業
5年役員(環境整備委員会)11人
清掃奉仕活動等、環境整備に関わる事業
6年役員(体育委員会)11人
会員・児童の体育的の行事に関わる事業

中心は学年役員、自分たちで主体的にICT機器を使用し、効率よく活動

子ども達の大きな楽しみを
○夕涼み会
PTA主催で、毎年、夏休み前日の夕方から
・軽食・飲み物の販売
・様々なゲーム
・お楽しみ企画
・映画会

工夫を凝らして本部役員とのチームワーク学年役員の活躍

☆文化祭
◎オリンピック食堂
⇒今年は○○○食堂？
…5年保護者が力を合わせて

◎クラフト工作
⇒ちよっとシャレた小物づくり
…1年役員「やってよかった！」
◎総合型スポーツクラブ
民生児童委員の方々
と茶道体験
生け花・絵手紙展
コーラス、
チャレンジコーナー

子ども達の安心、安全の確保
…地域のみなさんとの連携で

- ・夜店パトロール(民生委員の方々)
- ・1年生の下校サポート(まちづくり会の人たち)
- ・交通安全実地指導(警察の方を招いて)
- ・安全パトロール(地域安全パトロールの方)
- ・救急法講習会(自由水泳のために)

PTAだより「こうせい」の充実
新聞の作り方講習会
春、寺田先生を招いて
年間3回の発行

お母さん記者、大活躍だよ！

その年のオリジナルティを大切に 毎年受賞

成果と課題 PTA活動が活発で主体的である。各学年役員は、過去の取組を参考にしつつ、子ども達の思いを大切にしながら、その年度のオリジナルな内容を考え実施している。学校の会議室などを会場に、何回か話し合いを重ねているが、SNSを有効利用し、できる限り集まる回数を少なくしていく工夫も生まれてきた。また、地域の各団体と協力し、子ども達の安心安全を確保したり様々な行事を行ったりしてきており、子どもを中心とした連携が定着している。しかし、近年、PTA活動に対する保護者意識が変化し、「負担感」や「やらされ感」がアンケートにも現れている。今後、厚生小PTAらしさを大切にしながら、より多くの保護者が意欲的に参加していくPTA活動の構築が課題である。【三重県教育委員会事務局社会教育文化財保護課】

滋賀県立北大津養護学校PTA

所在地:滋賀県大津市 / 全校生徒数: 児童・生徒 182名

インクルーシブなPTA活動を目指して

学校の特徴	創立39年となる特別支援学校。小学部1年～高等部3年の知的障害および肢体不自由障害を持つ児童生徒が通っている。めざす子ども像として「げんき、なかよし、がんばる」を掲げ、子どもたちを真ん中に保護者と教師が連携しながら子どもたちの学校生活や育ちを応援している。
地域の特徴	学校は滋賀県大津市北西部、琵琶湖と比叡山および比良山系に囲まれた自然豊かな地域にある。近年、学校の近隣が宅地開発され、徐々に人口が増えてきている。
活動内容	PTAバザーや校内奉仕作業(厚生委員会)、学校や子どもたちの学校生活を紹介する広報誌の発行(広報委員会)、高等部卒業後の進路先について学ぶ学習会等(進路研修委員会)、県・近畿・全国等上部団体や校外の関係機関の会議・研修会への出席および報告(本部三役) など



障害福祉学習会



定期総会後懇親会

PTA活動の方針

☺ PTAは、本部三役を中心にし、5つの委員会(厚生、広報、進路研修委員会、北地区、中地区)があり、会員間の交流や学習会・研修会を中心に活動している。

+

☺ 本校に通う子どもたちは、年齢も幅広く、様々な障害を持っている。更に広範囲(11の中学校区)の様々な地域から学校に通っている。当然、PTA会員も年齢も考え方も住んでいる地域も様々…。

↓

いろんな子どもがいていろんな家庭がある…なるべく、みんなが包括される(インクルージョン)ようなPTA活動を!

↓

- ★ 行事の参加以外の様々なPTA活動の形を提供(教育・福祉の情報提供、教育環境充実や防災の為の備品購入等)
- ★ 行事参加の際は明るく楽しく!もしくは「参加して良かった」という行事に!

PTAだより三役版

子どもたちを取り巻く教育や福祉に関する知識や情報を学校と共有しながら、積極的に会員に提供している。



平成29年度第2号(1,4ページ)

成果

- PTA行事を振り返る際に、参加人数の多さ少なさよりも、内容の充実度が評価するようになった。結果的に行事によっては参加者が増えている。
- この数年毎年のように、高等部卒業式で卒業生の保護者からは「PTAは楽しかったわ。」という感想を頂く。

課題

- ・役員決めの際、多くの会員が協力的ではあるが、「長」が決まりにくい。
- ・地域の福祉関係機関との連携は作ってきたが、福祉以外の関係機関との関わりが少なく、障害児者の地域理解や地域生活支援のためにも今後広げていく必要がある。

【 滋 賀 県 】

京丹後市立網野中学校PTA

目指せ! 全員参加でつくる網野中学校! ~子ども達のために頑張るPTA~

学校の特徴	平成27年度、規模の異なる2校を再配置し、市内最大規模の中学校として開校した。校区の保育所・幼稚園、小学校とともに10年間を見通した小中一貫教育を推進している。	所在地:京都市京丹後市網野町網野2696番地 全校生徒数: 364名
地域の特徴	地域の学校に対する期待は大きく、協力的である。また、開校2年目(平成28年)に、学校・PTA・地域の代表者で構成する「教育応援会」が発足し、網野小中一貫教育や子育て環境について、学校・家庭・地域社会が連携・協働した教育の推進に寄与している。	
活動内容	本部役員が積極的に活動方針を打ち出し、初年度の取組を継承・発展させるとともに、4小学校1中学校から成る網野小中一貫校PTAの取組を牽引し、地域に根ざした活動を推進している。	

特徴的な活動

○学級PTA活動の推進

- ・保護者と担任でつくる「学級PTA」こそがPTA活動の根幹であると考え、学校再配置初年度の本部役員が積極的に学級PTA活動を推進。昨年度はそれを継承・発展させ、全学級で、それぞれ工夫した親子行事を実施した。
- ・学校再配置により会員数が増え、全体行事では、顔の見える活動が難しい中、学級の絆を基盤に保護者の親睦が深まり、盛り上がり全体へと広がることにつながった。



○多くの方に参加いただくための工夫

- ・中学校進学に対する保護者の不安軽減のために実施している「親のための応援塾」と同日に、ニュースポーツ「きばれえ」を楽しむ集いを企画。楽しく、多くの方に参加いただける工夫をし、校区小学校の保護者との親睦を深める機会となった。
- ・PTA学習会「非行防止教室」として、SNSに関する講演会を実施。保護者のニーズに合った学びの場を設定するように努めている。



○子ども達の安心・安全を守る取組

- ・校区4小学校や地域関係団体と連携し、学期に1回の合同交通安全指導を実施した。
- ・小中一貫校PTA活動方針に沿った本校PTAの取組として、生徒会とPTAの本部役員同士の懇談会を実施。SNSの使用の実態等を交流。今後のPTA活動につながる貴重な場となった。



成果

- 学校再配置により2つのPTAが1つになる上での様々な課題がある中、「子ども達のために」を第一に考え、本部役員を中心として積極的に活動を推進してきた。PTAがつながることで学校を支え、子ども達の安定や健やかな成長につなげることができた。
- 小中一貫校PTAとして地域に根ざした活動を推進することで、地域全体で子ども達をはぐくむ機運を醸成している。

課題

少子化で会員数の減少が見込まれる中、より多くの参加を目指すとともに、できるだけ負担なく継続できる活動や体制を検討していくことも必要である。

【京都市教育庁指導部社会教育課】

堺市立熊野小学校PTA

所在地：大阪府堺市 / 全校児童数：303名

学校の特徴 今年創立145年を迎え、明治10年には天皇が授業を天覧された。「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子供の育成」を教育目標に、一人ひとりが輝く学校をめざしている。

地域の特徴 堺環濠都市遺跡の東部に位置し、校内に中世の濠跡が確認されている。校区に市役所、裁判所、商店街等があり、市の中心地として発展している。

各種地域団体・関係機関との連携による健全育成

◆特徴的な活動

◇地域団体と連携した活動

- ①登下校の安全見守り・交通安全指導
通学路に見守り隊を全日配置(自治会・青少年指導委等と連携)
- ②校区体育(防災)大会の運営
4~6月、特設委員会を組織し、協賛広告集め、大会の準備・運営を実施(自治会・体育振興会等と連携)
- ③地域行事の校外指導
「八朔祭」「戎祭」「堺まつり」等の校外指導(青少年指導委等と連携)
- ④広報誌「ますみの輪」の発行
年2回発行(地域へ情報発信)
- ⑤「堺まつり」大パレード出発校の運営
本校は市の三大まつりの一つ「堺まつり」大パレードの出発地点で、運営に携わる。また「少年音楽隊」「こども鉄砲隊」の出演を支援(自治会・こども会等と連携)

「堺まつり」大パレードで「こども鉄砲隊」を支援



◇関係機関と連携した活動

- ⑥講習会「災害に備えて」
防災に関する講話・災害用備蓄倉庫の見学(堺区自治推進課と連携)
- ⑦給食試食会
食育に関する講話・試食・給食参観の実施(堺市教委保健給食課と連携)
- ⑧子供の健康を守る活動
年2回の学校保健給食委員会で子供の健康に関する講話・保護者啓発。また、「大阪府よい歯・口を守る学校・園表彰」3年連続優良賞受賞(校医・堺保健センターと連携)
- ⑨グローバル人材育成
ゲスト・ティーチャーの招聘(校区のベトナム総領事館と連携)や海外からの教育視察・国際親善活動



災害用備蓄倉庫の見学



ベトナム総領事館との連携

◇他の特徴的な活動

- ⑩ベルマーク・インカートリッジ等回収
- ⑪読書活動推進
読書習慣の確立をめざし、毎年10万円相当の図書を学校図書館に寄贈
- ⑫芸術鑑賞会
毎年日曜参観後に、落語・音楽・マジック・サイエンスショー等を親子で鑑賞



サイエンスショー鑑賞

成果と課題 学校・家庭・地域の連携による子供の健全育成のシステムが長年にわたり蓄積、改善され、活動のねらいが三者で共有されている。一方で、PTAの会員数の減少や会員の多忙化が進み、一人ひとりの責任が大きくなっている。持続可能な活動となるよう組織や活動方法を見直し、効率化を図ることが今後の課題である。

【大阪府教育庁市町村教室地域教育振興課】

篠山小学校・幼稚園育正会

こころ豊かで 進んで学ぶ ふるさと大好き ささっ子の育正

所在地：兵庫県篠山市北新町5
全校児童・園児数：児童138名・園児4名

学校の特徴 明治6年開校。本校は国指定史跡篠山城跡内に位置し、内堀と外堀に囲まれた三の丸跡に昭和期の木造校舎が建ち並ぶ。校訓「培根達枝」の精神を受け継ぎ発展してきた。

地域の特徴 慶長14(1609)年に築城された篠山城とともに形成された城下町をほぼ校区としている。歴史と文化が息づく城下町として、多くの観光客が訪れる町である。

活動内容

特徴的な活動

○「ありがとう」親子で育む感謝のこころ

地域、児童、会員が一緒に学校を掃除することによって、三世代の交流を図るとともに、子どもたちの心に感謝の気持ちを育てている。

○地域、学校と協働で子どもたちを守る

子どもたちが安全に登校できるよう、地域企業、ボランティア、会員などによる登校指導、通学路安全点検などを実施するとともに、ドライバーへの注意喚起を促すために「通学路」看板や幟の作成・設置に取り組んでいる。

○ふるさと大好き！ ささやま大好き！

～ふるさとへの思いを育てる～

日本遺産にも認定された篠山市を代表する夏祭りであるデカンショ祭りなど、篠山の伝統文化を地域の方々から学び、ふるさと篠山をよく知り、愛着と誇りを育む取組を進めている。

校舎ありがとうプロジェクト

【開催時期】年2回

【取組内容】

地域、児童、会員が一緒になって校舎の清掃作業に取り組み、子どもたちの心に感謝の気持ちを育てる。



安全登校、あいさつ運動

【開催時期】定期的

【取組内容】

地域等と連携し、あいさつ運動と子どもたちの安全な登校に取り組んでいる。



○防災訓練

関係団体等と連携し、避難場所や避難経路の確認、災害が起きたときに子どもと大人がどう行動すべきかを学ぶ。



○デカンショジュニア競演会

デカンショ踊りを学び、美しく、楽しく踊る練習をしながらジュニア競演会に参加する。



OPTCAフォーラム発表

コミュニティ・スクールの内容をフォーラムで発表するなど、積極的な情報発信に取り組んでいる。



○マラソン記録会支援

危険箇所の立ち番や手作りしし汁のふるまいを行う。



成果

- 保護者・教職員・地域住民の積極的な参加により、三世代交流活動や美化作業、あいさつ運動、研修会など、学校・地域と連携した育正会活動を長年にわたって活発に行っている。
- 安全と安心、開かれた学校づくりの取り組みとして、地域、学校、保護者の連携により、通学路の安全確認、見守り活動、注意喚起看板や幟の設置などに取り組んだ結果、地域と育正会、学校との交流が大きく深まった。

課題

- 今後、園児・児童・保護者数が減少していくと思われるので、活動の縮小が懸念される。地域や学校、保護者がそれぞれのつながりにより一層深く、育正会活動がこれからも活発に行えるよう努力する必要がある。

【兵庫県教育委員会社会教育課】

- 所在地：奈良県御所市名柄185 / 全校児童数：58名
- 地域の特徴：御所市の西端に位置し、大阪府と奈良県の境となる国定公園・葛城山の山麓に広がるのどかな田園地帯にある。自然環境に恵まれ、本校から奈良盆地を一望することができる。近年、イベント開催や郵便名柄館の開館など地域活性化への取り組みが活発である。
- 学校の特徴：明治8年「主善舎」から「名柄小学校」という名に改称され、140年あまりの歴史を積み重ねている。現在児童数（家庭数）は、年々減少し全校で58名（42家庭）となった。児童（PTA会員）の名前をみんなが知っている家族的な雰囲気のある学校である。

特徴的な活動

①みんなの芸術祭 — PTAがHUBとなり、文化活動で“地域活性化”

- ・2012年、奈良・町家の芸術祭HANARART～御所市名柄～にPTA有志が協力
→9日間で約2000人が来場 卒業生や地域出身者も多数帰省し、地域の文化祭となった
- ・2013年、奈良・町家の芸術祭HANARART～御所市名柄～をPTA主体の実行委員会が運営
→フランス人キュレーター、アーティストを招聘 本格的な現代アートの芸術祭となった
同時開催の音楽祭では、小学校多目的ホールをライブ会場として約200名の来場者があった
- ・2014年、ミュージックフェストなら→プロのミュージシャンによる音楽祭に市内外から約500名来場
- ・2016年、名柄小学校140周年記念式典→学校、PTA、地域が協働して、事業や式典を企画、運営

②みんなでアクティブラーニング — PTAと地域による“学びの場”づくり

- ・HANARART2012にて、全校児童が現代アート作家と巨大インスタレーション作品を製作
- ・HANARART2013にて、5年生児童がフランス人アーティストと交流、アート作品を鑑賞
- ・創立140周年記念事業として、地元産ひのき材を使った組み立て・可変式「本箱」を製作
- ・創立140周年記念事業として、プロのシンガーソングライターの協力をえて、「通学路」をテーマに、地域のイメージソング「ハッピーバースディ」を制作

③みんなの広報紙「ながら」 — 地域に“開かれた”広報紙づくり

- ・2015年、PTA広報紙に地域の「ひと・こと・もの」を取り上げるページをもうけた
- ・プロのデザインプロデュースの下、デザイナーの協力をえて、楽しく・美しい紙面を実現
→保護者だけでなく地域住民も読みたくなる「みんなの広報紙」を目指している

④みんなが支えるPTA活動 — 小規模校だからこそ！全員が“一人一役”の運動会



←①2013HANARART
音楽イベント
@多目的ホール

↓②140周年記念
「みんなの歌と本箱」

♪ハッピーバースディ♪

神様がいる気がする
家の前のポスト
サフィニアの花畑
イチヨウの木
広がる山々の
向こう側から昇る太陽



↑③広報「ながら」

これまでの成果

- 上記①～③の成果
 - ・PTAと地域に「やればできる！」という“自信と誇り”が生まれた
 - ・子どもや保護者が地域に関心を持ち、学ぶきっかけとなった
 - ・各分野のプロの協力をえることで、PTA活動の可能性が広がった
- 上記④の成果
 - ・保護者全員が、PTA活動を通して学校を支える気運が生まれた

今後の課題

- ・一つ一つの活動がPTAの自己満足に陥らず、真に“子どもたちのため”になっているか？を検証し続ける必要がある
- ・PTA会員である私たち世代も地域の一員として、さらなる小規模化や統廃合により、学校が地域の核として機能しなくなったとき、コミュニティをどう維持していくか？を考えなければならない

【奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課】

和歌山県立紀伊コスモス支援学校育友会

児童会・生徒会による交渉活動

所在地：和歌山県和歌山市弘西555番地
児童生徒数：小学部87名 中学部55名 高等部81名

学校の特徴	平成11年に開校。和歌山県の北部に位置し、今年で創立19年目を迎える知肢併置の特別支援学校です。授業づくりは学校づくりの理念の基、「共生社会の中でよりよく豊かに生きる人間の育成」を教育目標として掲げ、将来を見通した12年間の系統性のある教育を推進しています。
地域の特徴	和歌山市は、近畿地方の南西部、和歌山県の北部に位置する市で、和歌山県の県庁所在地です。江戸時代には御三家のひとつである紀州徳川家が治める紀州藩の城下町として栄えました。
活動内容	家庭、学校、地域が連携を図りながら、各行事等の取組を通じて児童生徒の育つよりよい環境づくりに寄与しています。ここで紹介する「交渉活動」の取組は、学校の教育方針や指導方法を踏まえつつ活動を進め児童生徒のキャリア形成に寄与しています。

特徴的な活動

児童会・生徒会による育友会との交渉活動

【開催時期】 7月、9月

【取組内容】

- 小学部児童会、中学部・高等部生徒会執行部が、みんなで使うために購入してほしい物を育友会役員に提案し交渉する活動。
- 児童会・生徒会執行部は、交渉のために、希望理由を考えたり、希望商品について調査を行い準備をする。
- 交渉当日、児童会・生徒会は準備をもとにプレゼンテーションを行った後、育友会役員との質疑応答を行う。
- 交渉の結果、育友会役員から、購入了承、保留、却下などの回答が出される。了承された物は、予算がつき児童・生徒達が購入する。
- 購入に当たっては、限られた予算を有効に使うためにあらかじめ価格を調査して、より安い商品の購入するなどの工夫をしている。



プレゼンテーション・交渉の様子

○その他の活動

機関誌「秋桜の風」発行、積み木キャラバン、ボランティア養成講座、夏祭り、カヌー教室、いきいきバスツアー、クリスマスコンサート、ボーリング大会、保護者学級、事業所等施設見学



ボランティア養成講座開校式

成果

- 子どもたちは、希望を実現するための理由や方法を考え交渉することで、社会に必要な生きたやりとりを実体験することができた。
- 「自分のほしい物ではなく、みんなに必要な物」を考えることで、他の人を意識できるようになった。自分たちの力で生活を変える経験ができた。

課題

- ・児童生徒が主体的に交渉準備するための、活動時間を確保する必要がある。
- ・プレゼンする力や挨拶、協議する力など他の教育活動においても積極的に応用し、社会に出たときに活用できるようになってほしい。

【和歌山県教育委員会生涯学習課】